

○卓話 「いま、子どもたちは！」

南砺市教育委員長 蓑口勝美氏



1 はじめに

30年余り前、福光高校で教諭をさせて頂いたおりに青少年の育成と国際奉仕を目標にインターアクトクラブ発足に係わらせていただきました。

2 多様な生活環境

1) 早寝・早起き・朝ごはん (朝)読書

5年前、教育委員になった時、文科省のスローガンは早寝、早起き、朝ごはんを掲げていた。現に南砺市のアンケート調査でも家族揃って朝食を食べるのは7割ほど、食べてこない子は1～2名、夕食もお父さん、中学生になると子どもが家族と一緒に食べられない多様な生活をしているのが現状です。

すね。

2) 携帯電話・インターネット

子どもたちは塾通い、部活など心配なところから親がプレゼントするが、現実には友達とのメールのやり取りのとりこになっている。また、インターネットのゲームの虜になっている子が多く見受けられる。

3 「生きる力」の向上

1) 基礎・基本の充実

今の子どもは慌ただしく学校、家庭で色々な事をしなければいけない。子どもに詰め込むのではなく、少し距離を置き流れを見てやるのも良いのではないか。

2) 地域を知る学習・事例や体験学習

親や大人が地域の環境やボランティアを通じて体験学習させてやり、これからの少子高齢化に対応できるよう育ててやりたい。

4 コミュニケーション力・表現力の育成

1) 自己PR 3K＝ 好奇心・感動・希望

自己PRが下手なところから、友達が欲しいがためひ弱な子が悪ふざけをしたのが暴力と取られてることが多いようだ。少子化で友達も少なく、心寂しく思っていることが表現できず、言葉より体で表すことが先に出るようなので静かに見守ってやりたい。子どもたちが自己表現できる場を設けるようにし、よりよい方向へ導きたい。3K＝いつも好奇心と心に感動と希望を持って生きる。

2) 未来を描く(自己実現)

ロータリーの標語、四のテストにもあるように、たえず向上心を持って生きる大人の姿を見て子どもたちが育てばよい地域になると思います。

蓑口勝美先生プロフィール

南砺市福光在住 1942年(昭和17年)のお生まれ。

- ・1964～県立福光高校・井波高校教諭 ・1987～県教育委員会社会教育課・生涯学習室(社会教育主事)
- ・1990～県企画県民部 婦人青少年課(副主幹) ・1992～井波高校・砺波女子高(教頭) ・伏木高校・石動高校(校長)
- ・2001～2003県民共生センター(館長) 兼県女性財団(専務理事) ・2004～市教育委員 ・2007～市教育委員長

◆幹事報告 片山浩一幹事

- ①2008-09交換留学生の帰国報告書送付の案内
- ②ロータリーカード普及のお願い
- ③指導者育成セミナーCD送付の案内
- ④射水RCより例会変更の案内
- ⑤ロータリーの友 12月号受領

◆記念日お祝い 親睦活動委員会

- ・本人誕生日、
2日畑山久雄、8日井沢正生、吉江康幸
13日、湯浅勇貴、14日、船藤幸生、15日、中田裕二

- ・奥様誕生日
15日井沢由紀子さん、16日松本房枝さん

- ・結婚記念日
9日井沢正生夫妻

◆委員会報告

- ・雑誌広報 細川誠三委員長
「友」12月号の紹介
「清く 楽しく 美しく」生きた人が勝利者です。

(今回の担当 中田 修)

◆二つ二つBOX

片山道代委員長

荒井君 好天に恵まれながら師走に入りました。今年最後の月、頑張りましょう。

三吉君 蓑口様、本日は大変にお忙しい中を卓話に来て戴きましてありがとうございました。

牧君 蓑口勝美先生、今日は卓話有難うございます。

北島君 好天に恵まれました。

中田裕君、畑山君／誕生祝いありがとうございます。

船藤君 誕生祝いありがとうございます。55才になります。よろしくお願いします。

河合君 今日の例会終り次第、名古屋へ向けて出発です。2日朝9時より「中部更生保護大会」が名古屋市内で開催、これに出席の為です。

安谷君 何でもよいからいいことがあります様に。

井沢君 毎年のことながら、12月は私達夫婦の月です。

松本一君 家内の誕生祝い有難うございました。

藤田君 京都、東本願寺の11月28日御満座にお参りしてきました。大きな御堂にお参りの人が満ちあふれ、大盛況でした。

湯浅君 3人目の孫が出来そうです。ありがとう。

税光君 早退します。



国際ロータリー第2610地区 NANTO ROTARY CLUB



NO. 1995



URL http://www.nanto-rc.jp

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日／火曜日 12:30点鐘 例会場／金沢信用金庫福光支店4階 ◆事務局／富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影

写真同好会

中田

修会員



柿

第2055回例会 平成21年12月1日(火)晴

◆点 鐘 12:30 ◆司 会 中田裕二SAA

◆ソング 「四つのテスト」

◆ゲスト 南砺市教育委員長 蓑口勝美様
米山奨学生 トン・リナ嬢

◆会長の時間 荒井 進会長

皆様、こんにちは！

ゲストの南砺市教育委員長 蓑口勝美先生、本日はようこそいらっしゃいました、後ほど卓話をよろしくお願いいたします。

トン・リナさんもお見えになりますが、ただいま、福光中学校で生徒たちとの交流会に出席されており、後ほど見られることになっております。

本日は、ゲイツ氏が本年1月21日、サンディエゴで開催のR I 国際協議会において2億5,500万ドルの寄付を発表した時のビデオを入手しましたのでご紹介いたします。ポリオ撲滅に対し、何故、ゲイツ氏がロータリーに多額の寄付をするのか？に対し、他の調査も含めて回答になれば、と思います。

ご存知のように、ゲイツ氏は1975年マイクロソフト社を共同設立しました。

爾来、15年間連続で世界長者番付第1位になりました。現在は世界第3位、ゲイツ氏53歳であります。2000年にマイクロソフト社のCEOを退き、会長職につき、ビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団を創設しました。父君も同財団の共同会長です。ゲイツ財団の目的は慈善活動、理念は「グローバルヘルス（世界の保険）」ポリオ、エイズ、マラリア、その他、病原ウイルスの一掃に取り組むことです。ゲイツ氏は「世界保健機関（WHO）、ユニセフ、アメリカ疾病対策センター（CDC）等素晴らしい組織がある。ポリオに対する闘いの中心はWHOである、とも、ロータリーだとも言える。WHOは国連の素晴らしい組織であるが、資金管理や活動を実行する上で複雑なことが多い。その点ロータリーは理想的である。ロータリーはポリオ撲滅を公約にしている唯一の団体であり、強い指導的役割を果たしてきている。ロータリーの活動記録を基にロータリーは主要なパートナーになると考えた。父君がシアト

ルロータリークラブの名誉会員である関係でロータリーについて地理的広さ等、知れば知るほどロータリーは感銘深いものになった」と、ロータリーの活躍に大きな信頼と期待を寄せております。また、ゲイツ氏は自ら、インド（2008年11月、2009年4月頃）、ナイジェリア(2009年2月)に出かけ、現地でワクチン投与等の活躍をしております。それでは、ビデオをご覧ください。

【ビデオ映写】（5分間）

ポリオ常在国は、アフガニスタン、パキスタン、インド、アフリカのナイジェリア等です。一度かかると神経細胞が破壊され、治癒する事はない、予防のためのワクチンが全てであると言われております。2001年には世界で600人程度までに減り、2008年までには撲滅の見通しがつくと、言われたときもありました。2003年ナイジェリアで予防ワクチン投与が中止されたこともあり、現在は、感染者が増えていえるということです。日本では、1959～61年流行し、所謂「小児麻痺」として恐れられましたが、1964年法律で予防ワクチンの投与（2回）が義務づけられ、その後国内の感染者は0になっております。

ただ、1976、1977年生まれの中には、予防ワクチン投与が万全でなく、上記のポリオ常在国、地域等に入国する場合は、予防ワクチンの投与が望ましい、といわれておりますのでご注意ください。ドイツとイギリス両政府が世界的ポリオ撲滅計画に対し、合わせて2億8,000万ドルの誓約をしたことも知らされております。ゲイツ氏は2009年3月5日シアトルロータリークラブの名誉会員（父君と同じ）になっております。（「ロータリーの友」2009年5月号引用他）

国際協議会でのビルゲイツの講演のビデオ(字幕付き)を2660地区のユーチューブチャンネルにアップしました。ぜひご覧ください。

http://www.youtube.com/user/rid2660

2660地区広報委員会 委員 木村芳樹氏(大阪南RC)より

◆出席報告 北島芳信委員長

会員数	12月1日出席率	11月17日の修正
55	89.09% (欠6)	87.27% (欠7メーク3)

次回の予定 12月15日(火) 第2057回
Xマス家族会 IOXクルム

親睦活動委員会担当